

杉並区は、東京23区の西端のほぼ平坦な武蔵野台地上に位置しています。関東大震災以後、都市化が進みましたが、現在でも区の北西部と南西部を中心に屋敷林や農地が残り、杉並の原風景を偲ばせる景観を形成しています。

近年注目を集めるグリーンインフラについて、杉並区の取組をご紹介します

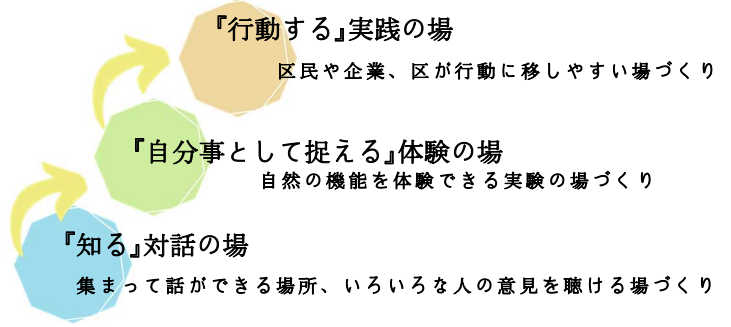
区内の課題は様々...

区内では、
昨年水害被害が発生

- ・生物多様性
- ・みどり・屋敷林の保全
- ・世代間交流
- ・WELL-BEING
- ・にぎわいの創出
公園・まちづくり
- ・気候区民会議
- ・ヒートアイランド対策
- ・水害対策
- ・環境教育
- ・商店街活性化

段階的な場づくり

区民とともに作り上げます



『知る』対話の場

みんなと一緒に 知ろうグリーンインフラ

大学の先生に教えてもらいました



◆熊本県立大学
島谷特別教授からの講演



◆施設見学



みんなと一緒に 気づこう身近なみどりの力

区長と一緒にミーティングを開催しました



区が抱える水害の課題を紹介し、身近な自然の機能をどのように活かすことができるか区民の皆さんとグループトークをすることが出来ました。



『自分事として捉える』体験の場

みんなと一緒に 土の浸透実験

自然の力を体感

土地の状態によって、浸み込み量が違うとされています。浸み込み量は水害軽減の効果に関係します。状態の違う土地3箇所での水の浸透実験を行い違いを体験しました。



みんなと一緒に 雨庭づくり

アイデアをだして雨庭づくりを体験

区民参加型ワークショップの中で区立柏の宮公園をフィールドに雨庭づくりを体験しました。参加者の様々なアイデアを反映した雨庭となりました。



◆鉛直浸み込みタイプ

◆多種類の展示タイプ

『行動する』実践の場

今後の取組

区全体の7割を宅地が占める杉並区においては区民の協力が必要となります。



様々な課題解決に向けて身近なみどりを活用できるように、支援制度などを区民と一緒に考え、行動に移しやすい実践の場をつくっていきます。



問合せ先
杉並区みどり公園課
☎03-3312-2111